

1/12 毎日

# 女川再稼働知事同意

## 被災原発初 22年度以降目指す

東北電力女川原発（宮城県女川町、石巻市）2号機の再稼働について、宮城県の村井嘉浩知事は11日、地元同意を正式に表明した。女川町の須田善明町長、石巻市の亀山紘市長との3者会談で結論を出し、その場で梶山弘志経済産業相に電

話で伝えた。再稼働への地元同意の手続きは完了し、東北電は安全対策工事が完了する2022年度以降の再稼働を目指す。東日本大震災で被災した原発の再稼働への地元同意は初めて。（7面に関連記事）

井知事は「原発がある以上、事故が起こる可能性はあることの見解を示した上で、「事故があったから（原発が）ダメであれば、全ての乗り物も食べ物も事故が起きた経験から否定される。福島事故を教訓として、技術革新を目指すべきだ」と持論を述べた。

立地2市町が再稼働を容認した背景には、震災による人口減少に歯止めがかからず、疲弊する地元経済の現状がある。村井知事と2市町長は「雇用創出や、自治体への固定資産税や核燃料税も期待される」などとする連名のコメントを発表。2市町長は再稼働に理解を示しつつ、避難計画の実効性に対する不安も強調しており、同意にあたり村井知事が避難道路の整備費を国に求める方針も確認した。

【深津誠】